

概説

J-PARC 加速器を使用したミュオン電子転換過程探索実験を計画しております。ハドロン実験施設にある南実験棟 COMET ビームラインにおいて陽子ターゲットにビームを照射させ、そこで発生したパイオンを輸送ソレノイド超伝導磁石にて輸送し、崩壊してできたミュオンを AI ターゲットでとめ、そこで発生する電子を最終段に設置した検出器で探索します。この実験は Phase-I、Phase-II と二段階で進めている計画であり、Phase-I 実験では上記探索に加え、世界初となるビームそのものの性質を精査するものです。本基板は専用計測用回路基板としたプリント配線基板です。



基板はアナログ信号を処理する波形処理回路、デジタル信号変更回路、およびデジタル信号を処理する FPGA により構成されている。

仕様

●I/F

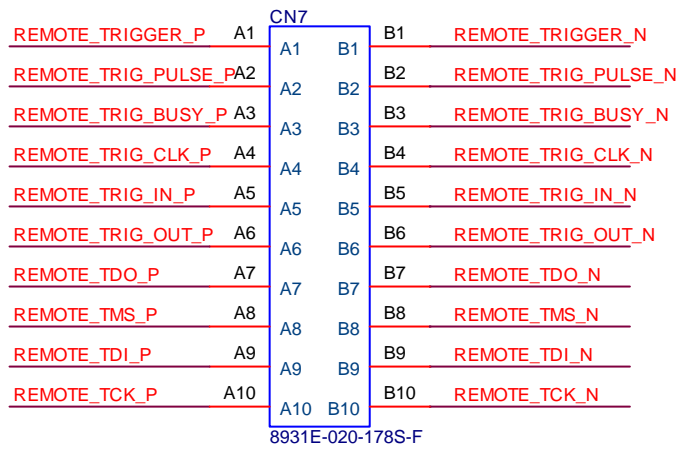
Input : FX2CA2-40S-1.27DSAL(71) DATA
: 919-109J-51PX (Amphenol)

output : UE76-A20-3000T (SFP コネクタ)
: 8931E-068-178L-F (32ch differential signal)

Power : B02P-XL-HDB(LF)(SN)(P) + 6 V

Size : 185mm x 80mm

●出力ピン



●入力ピン

